

2019 年度北塩原村農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

北塩原村は、気象、地勢等の自然条件及び産業構造等の社会経済的条件を異にする「北山地区」「大塩地区」「桧原地区」の三地区で構成されている。

「北山地区」は比較的平坦であり、区画整理も終了した作業環境の整備された地区である。

「大塩地区」は山間に囲まれた谷間に位置する中山間地域であり、棚田的耕地が多く、経営面積も小さく基盤整備も実施されていない地区である。

「北山地区」「大塩地区」はライスセンターの整備拡充等により水稻を中心に、野菜、花き、そば等を組み合わせた農業経営が行われている。

「桧原地区」は標高約 800m に位置する高原地帯であり、多くの観光客が訪れる日本有数の観光地でもある。観光客のニーズに合った高冷地に適した高原野菜、夏秋いちご、夏秋ほうれんそう、じゅんさい、そば等を中心とした農業経営が行われている。

すべての地区において、農業者の高齢化が進んでおり、不作付地の増加防止や改善が課題となっている。

また、地産地消の推奨や地場産品の 6 次化など、観光産業等との連携による新しい形態の農業展開も求められている。

2 作物ごとの取組方針等

村内の約 310ha（不作付地含む）の水田について、適地適作を基本に産地交付金を有効に活用しながら、栽培面積の維持・生産量の拡大を図る。

（１）主食用米

水稻は、本村農業生産の約 7 割を占める基幹作物であり、良質・良食味として高い評価を得ているが、売れる米作りの生産体制を確立するため、方針作成者との連携を密にし、実需者が求める品種、特に福島県のオリジナル品種である「天のつぶ」「里山のつぶ」の作付け・事前契約を促進する。加えて、トレーサビリティ（生産履歴）への取組みをはじめ、有機栽培、減農薬、減化学肥料栽培などの特別栽培米への取組みを図りながら、安定的に収量を確保し、安全・安心な米の生産と供給を目標とする。

（２）非主食用米

ア 飼料用米

該当なし

イ 米粉用米

該当なし

ウ 新市場開拓用米

該当なし

エ WCS 用稲

該当なし
オ 加工用米
該当なし
カ 備蓄米

備蓄米は、販売先が確立されており需給調整手段としても有効であることから、稲作経営の安定化を図るため、実需に応じた取組を推進する。

(3) 麦、大豆、飼料作物
該当なし

(4) そば、なたね
そばについては、高齢者であっても比較的取り組みやすく、農地の保全としての役割も果たしていることから、今後も産地交付金を活用し、排水対策等へ取り組み、生産性や品質の向上を図りながら現行の栽培面積を維持する。
なたねについては該当なし。

(5) 高収益作物（園芸作物等）
水田農業の生産性向上のため、地域の主力作物である下記の13品目に対し、施設及び露地栽培での作付を推進する。
「アスパラガス」「きゅうり」「いちご」「トマト」「りんどう」「ほうれんそう」「かぼちゃ」「じゅんさい」「花嫁ささげ」「さやいんげん」「マコモダケ」「だいこん」「とうもろこし」
また、本村は日本有数の観光地であることから、道の駅裏磐梯や産地直売所等を活用した販売を推進する。

(6) 畑地化の推進
該当なし

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	198	195	190.16
飼料用米	0	0	0
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS用稲	0	0	0
加工用米	0	0	0
備蓄米	3.4	3.0	5.0
麦	0	0	0
大豆	0	0	0
飼料作物	0	0	0
そば	11.2	12.5	13.5
なたね	0	0	0
その他地域振興作物	16.4	20.7	23.5

野菜			
・アスパラ	2.0	2.0	2.0
・きゅうり	1.8	2.0	2.1
・いちご	0.4	0.4	0.4
・トマト	0.5	0.5	0.5
・りんどう	0.3	0.4	0.5
・ほうれんそう	0.4	0.5	0.6
・かぼちゃ	1.1	1.8	2.0
・じゅんさい	1.2	1.2	1.3
・花嫁ささげ	0.9	1.2	1.3
・さやいんげん	0.6	0.6	0.6
・マコモダケ	0.2	2.3	4.2
・だいこん	1.7	2.5	3.0
・とうもろこし	5.3	5.3	5.0

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	
				目標値	
1	アスパラ	振興作物助成	作付面積	（2018 年度） 2.0	（2020 年度） 2.0
1	きゅうり	振興作物助成	作付面積	（2018 年度） 1.8	（2020 年度） 2.1
1	いちご	振興作物助成	作付面積	（2018 年度） 0.4	（2020 年度） 0.4
1	トマト	振興作物助成	作付面積	（2018 年度） 0.5	（2020 年度） 0.5
1	りんどう	振興作物助成	作付面積	（2018 年度） 0.3	（2020 年度） 0.5
1	ほうれんそう	振興作物助成	作付面積	（2018 年度） 0.4	（2020 年度） 0.6
1	かぼちゃ	振興作物助成	作付面積	（2018 年度） 1.1	（2020 年度） 2.0
1	じゅんさい	振興作物助成	作付面積	（2018 年度） 1.2	（2020 年度） 1.3
1	花嫁ささげ	振興作物助成	作付面積	（2018 年度） 0.9	（2020 年度） 1.3
1	さやいんげん	振興作物助成	作付面積	（2018 年度） 0.6	（2020 年度） 0.6
1	マコモダケ	振興作物助成	作付面積	（2018 年度） 0.2	（2020 年度） 4.2
1	だいこん	振興作物助成	作付面積	（2018 年度） 1.7	（2020 年度） 3.0

1	とうもろこし	振興作物助成	作付面積	(2018 年度) 5.3	(2020 年度) 5.0
---	--------	--------	------	---------------	---------------

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内としてください。